

2015 年（平成 27 年）1 月～2016 年（平成 28 年）3 月 業績

I 論文

学術論文

1. Yamamoto S, Tazumi K, **Arao H** Support not corresponding to transition to a new treatment: Women's perceptions of support provided by their male partners during hormonal therapy. International Journal of Qualitative Studies on Health and Well-Being 10: 29283, 2015. doi: 10.3402/qhw.v10.29283
2. 山本瀬奈, 田墨惠子, 西 光代, 奥出有香子, 物部千穂, **荒尾晴恵** ホルモン療法を開始する乳がん患者が治療開始後早期に体験する更年期症状と QOL の変化. 日本がん看護学会誌, 29(2): 25-32, 2015
3. 志田 瑶, **師岡友紀** 救急看護認定看護師の理想と実際の差異について 大阪大学看護学雑誌 2015 年 21 卷 1 号 15-20 頁

解説・総説

1. **荒尾晴恵** 緩和ケア特集 まずはここから！症状別がん看護 ポイントさくさくりスト 総論 ケアにガイドラインを活用するための基礎知識 プロフェッショナルがんナーシング 2015 年 6 月 5 卷 3 号 266-267 頁
2. **荒尾晴恵, 北川聰美** がん看護に携わる看護師の共感疲労 緩和サポーティブケア剤前線 がん看護 増刊号 2015 年 1 月 294-298 頁
3. **高尾鮎美, 荒尾晴恵** 緩和ケア特集 まずはここから！症状別がん看護 ポイントさくさくりスト 呼吸困難 プロフェッショナルがんナーシング 2015 年 6 月 5 卷 3 号 280-281 頁
4. **高尾鮎美, 荒尾晴恵** 呼吸困難のアセスメントとケア 緩和サポーティブケア剤前線 がん看護 増刊号 2015 年 1 月 126-130 頁
5. **藤川直美, 荒尾晴恵** 緩和ケア特集 まずはここから！症状別がん看護 ポイントさくさくりスト 悪心・嘔吐 プロフェッショナルがんナーシング 2015 年 6 月 5 卷 3 号 270-271 頁
6. **山本瀬奈, 倉田貴代美, 北川聰美, 荒尾晴恵** 卓越した看護実践と質の高いケアの共有 薬剤管理とサバイバー支援の視点から がん看護 2015 年 3 月 20 卷 3 号 365-367 頁
7. **師岡友紀**(執筆), 濑戸奈津子, 畠中あかね(監修) 患者さんの全体像がみえる 疾患別看護過程(第 5 回) 子宮体がん (単純子宮全摘術後の事例)

Nursing Canvas 2015 年 3 卷 9 号 41-66 頁

8. **師岡友紀** 生体肝ドナーの心理的側面に関する質的研究 今日の移植 2015 年 28 (4) 499-506 頁

その他

1. **荒尾晴恵** 書評 緩和ケアの基本 66 とアドバンス 44 がん看護 2015 年 9 月 20 卷 6 号 636 頁
2. **師岡友紀** 生体肝移植ドナーの方々の移植手術に対する思い 今日の移植 2015 年 28 (1) 45 頁

II 著書

専門著書

1. **荒尾晴恵**, 森田達也編集 緩和サポーティブケア剤前線, がん看護 増刊号

III 学会発表

国際学会

1. **Arao H**, Tazumi K, Hatakeyama A, Yamamoto S Creating nursing program that promotes the ability of patients to manage oral anticancer agent dosage in line with their lifestyles. 2nd Asian Oncology Nursing Society Conference, 2015, November, Seoul
2. **Arao H**, **Koike M**, Miki S, Tazumi K, Kado R, Nishio A, **Yamashita R** Prevention of severe mucositis of head and neck cancer patients undergoing chemo radiotherapy Case study of nursing support to facilitate the self-care. 2nd Asian Oncology Nursing Society Conference, 2015, November, Seoul
3. **Inoue K**, **Arao H** The influence of adjuvant chemotherapy on the role of a mother in breast cancer patient. 2nd Asian Oncology Nursing Society Conference, 2015, November, Seoul
4. **Kitajima J**, **Koike M**, **Masutani E**, **Arao H** The practice of nursing on fertility for the cancer patient undergoing chemotherapy by a Certified Nurse in Breast Cancer Nursing: A case report. 2nd Asian Oncology Nursing Society Conference, 2015, November, Seoul
5. **Koike M**, Tazumi K, **Yamashita R**, **Arao H** A literature review of factors of patient-related barriers to the use of analgesics in early stage cancer patients. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2015, February, Taipei
6. **Kurata K**, **Tao M**, **Kitajima J**, **Koike M**, Tazumi K, **Arao H** Visitor's needs and nursing support

太文字=教員 2重線=大学院生、修了生 点線=学士ゼミ卒業生

- at cancer information section. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2015, February, Taipei
7. **Takashi J, Aoki M, Kitagawa S, Arao H** How do nurses in palliative care units understand psychological pain of cancer patients? : A qualitative study, Asia pacific hospice Conference, 2015,April.Taipei
 8. **Takashi J, Takeda Y, Tazumi K, Koike M, Yamashita R, Arao H** The health care professionals' barriers to using analgesics to relieve the chemoradiotherapy-induced oral mucositis of head and neck cancer patients: A literature review. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2015, February, Taipei
 9. Nozawa M, Arao H Survey on actual supports given by physicians involved in cancer treatment to cancer patient on making decision about fertility preservation in japan: Differences between breast and hematology specialists. 2nd Asian Oncology Nursing Society Conference, 2015, November, Seoul
 10. **Yamamoto S, Arao H** Menopausal symptoms and cognitive dysfunction in breast cancer patients receiving hormonal therapy. The 3rd International Symposium of Training Plan for Oncology Professionals, 2015, February, Osaka
 11. **Yamamoto S, Arao H, Mashiro E, Yoshioka T, Masutani E** Factors affecting cognitive function in breast cancer patients receiving hormonal therapy. 18th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2015, February, Taipei
 12. **Yamamoto S, Masutani E, Arao H** Self-reported cognitive changes: A comparison between breast cancer patients receiving hormonal therapy with and without prior chemotherapy. The 4th International Symposium of Training Plan for Oncology Professionals, 2015, February, Osaka
 13. **Yamamoto S, Masutani E, Kitada N, Tanji Y, Kitagawa S, Arao H** Self-reported cognitive problems: A comparison between breast cancer patients receiving hormonal therapy with and without prior chemotherapy. 2nd Asian Oncology Nursing Society Conference, 2015, November, Seoul
 14. **Yamamoto S, Tazumi K, Arao H** Self-assessment of side effects associated with hormonal therapy for breast cancer. 2nd Asian Oncology Nursing Society Conference, 2015, November, Seoul
 15. **Yamamoto S, Tazumi K, Arao H** Difficulty sharing: The importance of educational support for couples to endure hormonal therapy together. International Conference on Cancer Nursing 2015, 2015, July, Vancouver

国内学会

1. 青木美和, 荒尾晴恵 終末期がん患者のせん妄の徵候を捉えるアセスメントの視点 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
2. 井上佳代, 荒尾晴恵 18 歳以下の子どもをもつがん患者の母親役割の概念分析 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
3. 北野愛子, 荒尾晴恵 術前化学療法期間中の食道がん患者の食行動に伴うセルフケアと影響要因に関する研究 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
4. 倉田貴代美, 升谷英子, 小池万里子, 荒尾晴恵 再発・転移をきたした悪性骨軟部腫瘍患者のケアに対して看護師が抱く困難感 第 30 回日本がん看護学会学術集会 2016 年 2 月, 千葉市
5. 小林珠実, 升谷英子, 田墨恵子, 荒尾晴恵 医療施設における看護師の抗がん剤の安全な取扱いと曝露対策の実態 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
6. 佐竹陽子, 荒尾晴恵 三次救急において終末期にある患者への整容ケアに対する看護師の認識 第 20 回日本緩和医療学会学術大会 2015 年 6 月, 横浜市
7. 佐竹陽子, 荒尾晴恵 救急領域で終末期ケアを実践する看護師の葛藤 第 35 回日本看護科学学会学術集会 2015 年 12 月, 広島市
8. 太尾元美, 升谷英子, 小池万里子, 荒尾晴恵 不可逆的悪液質の患者および家族へのケアに対して緩和ケア病棟看護師が抱く困難 第 30 回日本がん看護学会学術集会 2016 年 2 月, 千葉市
9. 武田佳子, 升谷英子, 丹治芳郎, 梅田真紀, 山中沙樹, 津川浩一郎, 荒尾晴恵 一次乳房再建術を受けた乳がん患者の術式選択過程において利用した情報源とその有用性について 第 23 回日本乳癌学会学術総会 2015 年 7 月, 千代田区
10. 武田佳子, 升谷英子, 丹治芳郎, 梅田真紀, 山中沙樹, 津川浩一郎, 荒尾晴恵 一次乳房再建術を受けた乳がん患者の術式選択過程に対する満足とその

業績リスト（2015）

- 関連要因 第 29 回日本がん看護学会学術集会
2015 年 2 月, 横浜市
11. 中森美季, 荒尾晴恵 子宮がん続発性リンパ浮腫の初めての気づき 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
12. 藤川直美, 升谷英子, 荒尾晴恵 外来で EGFR 阻害剤治療を受ける進行・再発大腸がん患者における爪や指先の皮膚症状の体験とそのマネジメント 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
13. 増尾由紀, 小林珠実, 荒尾晴恵 放射線治療終了前の乳がん患者が体験する複数の症状—Lenz の不快症状の中範囲理論を用いた記述研究— 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
14. 升谷英子, 北田なみ紀, 丹治芳郎, 山本瀬奈, 北川聰美, 荒尾晴恵 ホルモン療法を受ける乳がん患者の主観的認知機能低下と要因の関係 第 13 回日本乳癌学会近畿地方会 2015 年 11 月, 大阪市
15. 升谷英子, 北田なみ紀, 丹治芳郎, 山本瀬奈, 北川聰美, 荒尾晴恵 ホルモン療法を受ける乳がん患者の主観的認知機能評価尺度の信頼性・妥当性の検討 第 30 回日本がん看護学会学術集会 2016 年 2 月, 千葉市
16. 升谷英子, 小林珠実, 田墨惠子, 荒尾晴恵 抗がん剤の安全な取扱いと曝露対策に関する看護師への教育の効果—講義と演習をパッケージとした教育方法の試み— 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
17. 山下亮子, 山本知美, 渡部昌美, 田墨惠子, 嘉戸怜子, 小池万里子, 武田佳子, 高志慈祥, 荒尾晴恵 放射線治療医が捉える頭頸部がんの化学放射療法に伴う口腔粘膜炎に対する早期からの疼痛緩和の阻害要因 第 30 回日本がん看護学会学術集会 2016 年 2 月, 千葉市
18. 山本瀬奈, 荒尾晴恵 ホルモン療法を受ける乳がん患者とパートナーの関係性 第 23 回日本乳癌学会学術総会, 千代田区
19. 山本瀬奈, 田墨惠子, 西 光代, 奥出有香子, 物部千穂, 荒尾晴恵 術後ホルモン療法を受ける乳がん患者が体験する更年期様症状の薬剤別の特徴 第 29 回日本がん看護学会学術集会 2015 年 2 月, 横浜市
20. 小野恵理佳, 安藤昌代, 師岡友紀, 南 正人, 梅下浩司 病棟から手術室へ異動となった看護師が抱える困難と支援方法についての検討 第 37 回日本手術医学会総会 2015 年 10 月 2 日, 大阪市
21. 藤田安沙貴, 師岡友紀, 梅下浩司 手術看護認定看護師が考える手術看護のやりがい 第 37 回日本手術医学会総会 2015 年 10 月 2 日, 大阪市
22. 鳥羽恵理奈, 藤井彩子, 鎌谷明美, 柳川千里, 師岡友紀, 上杉裕子, 高尾正樹, 坂井孝司, 西井 孝, 菅野伸彦 両側同時人工股関節置換術後の看護における課題の検討 第 42 回日本股関節学会学術集会 2015 年 10 月 30 日, 大阪市
23. 藤井彩子, 鎌谷明美, 柳川千里, 師岡友紀, 上杉裕子, 高尾正樹, 坂井孝司, 西井 孝, 菅野伸彦 人工股関節置換術後の日常生活動作獲得時期における転倒転落のリスク評価と予防策についての検討 第 42 回日本股関節学会学術集会 2015 年 10 月 31 日, 大阪市

IV 講演会

- 荒尾晴恵 大分県看護協会 実践力が身につく！終末期がん患者の看護 症状マネジメント 2015 年 6 月 28 日
- 荒尾晴恵 兵庫県立がんセンター がん看護実務研修 症状マネジメントとケア 2015 年 8 月

V 主催学会

セミナー

- 荒尾晴恵, 升谷英子, 小池万里子 がん看護能力スキルアップコース「がん患者さんの呼吸困難に対するケア」大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール 2015 年 10 月 3 日 大阪市
- 荒尾晴恵, 升谷英子, 小池万里子 がん看護能力スキルアップコース「治療中のがん患者さんの皮膚症状へのケア」大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール 2015 年 8 月 29 日 大阪市
- 荒尾晴恵, 升谷英子, 高見亜美 平成 27 年度 連携 7 大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン がん看護 FD セミナー「卓越した臨床判断能力と実践力を育むがん看護専門看護師実習指導」新大阪丸ビル別館会議室 2015 年 12 月 19 日 大阪市

研究会

- 荒尾晴恵, 小池万里子, 升谷英子, 畠山明子, 高尾鮎美, 藤川直美, 増尾由紀, 倉田貴代美, 太尾元美, 北島惇子 第 5 回大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻がん看護高度実践看護師コース修了生の会「コンサルテーション・倫理に関する事例検討、今後の実績の積み上げ方」新大阪丸ビル新館会議室 2015 年 5 月 31 日 大阪市

2. 荒尾晴恵, 升谷英子, 淩野耕太, 皇山明子, 高尾鮎美, 藤川直美, 増尾由紀, 倉田貴代美, 太尾元美, 北島惇子 第6回大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻がん看護高度実践看護師コース修了生の会「OCNSとしてのコンサルテーション・倫理調整に関する事例検討」 新大阪丸ビル別館会議室
2015年12月23日 大阪市

その他

1. 小池万里子, 升谷英子, 荒尾晴恵, 田墨惠子 チーム医療において看護の専門性を発揮できる CNS の育成、臨床と大学の協働 HANAI 第29回日本がん看護学会学術集会 交流集会 4

VI 研究費

学研究費補助金

1. 荒尾晴恵（研究代表者） 化学療法誘発末梢神経障害を持つ患者の転倒に影響する危険因子の明確化 平成27-28年度 文部科学省科学研究費（挑戦的萌芽研究）
2. 荒尾晴恵（研究分担者） がん生殖医療の視点で取り組む「がん患者の妊娠性温存の意思決定支援モデル」の開発研究 平成25年度～29年度 文部科学省科学研究費 基盤研究（B）
3. 荒尾晴恵（研究代表者） 診断期から緩和ケアに基づく放射化学療法中の頭頸部がん患者の口腔粘膜炎への看護介入 平成25-27年度 文部科学省科学研究費（基盤研究B）
4. 荒尾晴恵（研究分担者） ホルモン療法を受ける乳がん患者の認知機能障害の実態と生活への影響に関する研究 平成25-26年度 挑戦的萌芽研究
5. 師岡友紀（研究代表者），梅下浩司（研究分担者），学術研究助成基金助成金（科研費）基盤研究（C） 生体肝移植ドナーの術後支援に向けた相談システムの開発と評価 平成27～30年度
6. 吉村弥須子（研究代表者），梅下浩司（研究分担者），
師岡友紀（研究分担者），学術研究助成基金助成金（科研費）基盤研究（C） 生体肝移植ドナーの妊娠・出産における体験と医療支援に関する研究 平成27～29年度
7. 山下亮子（研究代表者） 仕事を持つ慢性心不全患者のライフスタイルに即した療養行動実施の看護援助指針の開発 平成26年～28年度 文部科学研究費補助金 若手研究（B）

奨学寄付金

1. 荒尾晴恵（研究代表者） 公益財団法人安田記念医学財団 平成26年度癌看護研究助成